

# EYE サポートニュース

2025年12月号

## 目 次

### センターからのお知らせ

|                    |   |
|--------------------|---|
| 年末年始休館日について.....   | 2 |
| 点字カレンダーさしあげます..... | 2 |
| お役立ちミニ情報.....      | 4 |

### 静岡県からのお知らせ

|                        |   |
|------------------------|---|
| 点字電話帳・点字カレンダーについて..... | 5 |
|------------------------|---|

### イベント情報

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 出前センター i n 富士 ..... | 6   |
| 土曜サロン .....         | 7   |
| 「本の玉手箱」 .....       | 1 2 |
| 点字図書さしあげます .....    | 1 3 |
| S Dカードサービス .....    | 1 4 |

### 新刊案内

|              |     |
|--------------|-----|
| 点字図書 .....   | 1 5 |
| デイジー図書 ..... | 2 1 |

発 行 静岡県視覚障害者情報支援センター

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号  
シズウエル 2階

電話番号 054-253-0228

F A X 054-250-0766

E-Ma i l info@i-center-shizuoka.jp

ホームページ <https://i-center-shizuoka.jp>

開館時間 9：00～17：00

休 館 日 日曜日、第4土曜日、祝日、年末年始

## センターからのお知らせ

皆さんこんにちは。めっきり寒くなりましたね。お変わりなくお過ごしでしょうか。年々季節の秋が短くなっているようで、今年もあっという間に冬突入！でしたね。

今年はブライユ点字考案 200 年、そして倉次の 50 音点字 135 年に当たります。各地で様々なイベントが開催されましたが、センターでは 2 月に学習教材の紹介を兼ねてサロンで取り上げました。点字を覚えて本を読むのは難しそうだな…確かにそのようなことはあるかと思いますが、でも、知っている则便利だな、ということもあります。

①街中で。公共施設や駅周辺には、点字表示や触地図などが設置されていて、それを手掛かりに情報を得ることができます。ただし、ウェットティッシュ持参で触察することをおすすめします！

②おうちの中で。炊飯器や洗濯機などには点字表示されているものがあります。ボタンの位置を覚えてしまえば必要ない、と思うかもしれませんが、やはり手掛かりがあると安心感がありますね。

③新幹線の中で。デッキの手すりには号車番号や座席配置を示す表示があります。1 人旅には欠かせない情報ですね。

④エレベータの中で。階数表示を点字で確認できることもあります。出張先で出くわすと、それだけで安心感を覚えたり…。

いかがですか、皆さんにとっての「点字の魅力」とは何でしょうか。

## ■年末年始の休館日について

12月27日(土)から1月4日(日)まで、センターはお休みです。新年の開館日は5日(月)からとなります。年末の郵便事情によっては、郵便物がお手元に届くタイミングが予測どおりにならないことも考えられます。図書のリクエストなどは、できるだけお早めにご連絡ください。

## ■恒例の「点字カレンダー」さしあげます！お一人2部まで

(公財)日本テレビ小鳩文化事業団が毎年製作・配布している写真と点字付きの卓上カレンダー。2026年のテーマは「町並み紀行」です。それぞれの風景を説明する点字解説文が付きます。ご希望の方は、電話かメールでお申し込みください。準備でき次第の発送となります。

※部数に限りがあるため、お一人2部までの受付といたします。ご了承ください。

## ■点字かわら版「美味しい！楽しい！静岡情報」配信中！

10月号では「紅葉とグルメで秋を満喫」として、寸又峡周辺グルメを、11月号では年末に向けて、蕎麦特集第一弾をお届けしました。

点字かわら版は、アイニュースでのお知らせのほか、ご希望の方には、点字印刷したもの(3枚)を差し上げます。点字データでご希望の方は、メール添付でお送りいたします。ぜひご利用ください。

## ■在宅リハのおすすめ

支援員がご自宅を訪問して、ご希望のスキルアップにお応えする事業が在宅リハです。センターが窓口になっていますので、必要に応じてご利用ください。

白杖を使った単独歩行やガイドの受け方、アイフォーンなどのICT 機器類の操作、点字の習得、日常生活での所作や工夫など、お困りごとに対応しています。お気軽にご相談ください。

支援を受ける場合、原則、費用は掛かりませんが、ご自身の交通費やテキスト代については、ご負担をお願いしています。支援員への謝礼や交通費などを請求することはありません。

ご希望内容によって必要な支援回数などが違ってきますので、お申し込みの際、最適な支援を計画するために、ご本人に様々お尋ねします。その点、ご了承ください。

実際にご自宅に訪問するのは、センターの職員ではなく、この事業に登録している支援員です。歩行訓練士などの有資格者やスマホサポーターとして活動している経験豊富な方々が当たっています。

利用開始は電話 1 本で可能、センターにお電話ください。希望する支援について聞き取りしたのち、支援員とマッチングします。

終了後には、簡単なアンケートも実施しています。より良い事業を目指していますので、忌憚のないご意見をお聞かせください。

皆様のご利用をお待ちしています。



## お役立ちミニ情報

### ■硬貨の判別

昨今の買い物はカードやスマートフォンで支払うことが多いですね。現金はもう必要ないのでしょうか。ちょっと調べてみたら「医療費の支払い」「個人経営の飲食店」「行政サービスの支払い」などにはまだ現金が必要だそうです。今回はそんな時のために硬貨を素早く判別する便利グッズや財布を3種ご紹介。

1. 硬貨を種類別に収納できるプレート。厚さ1センチほどのプレートの側面に半月上の6つのくぼみがありそこにそれぞれの硬貨を横から差し込んで使います。専用のカバーまたは財布にセットできるものもあります。

2. レールが付いた財布。コインレールと呼ばれる対になったレールが4対あり500円、100円、50円、10円硬貨をそれぞれのレールの間に通して収納できます。

3. 仕切りのある財布。仕切りによって硬貨を複数の箇所に分けて収納できます。製品によってはお札も分別収納できます。

これらは物品販売を行っている視覚障害者施設で取り扱いがあります。プレート状のものは100均でも入手できます。

思いがけない支払いなどに備えていくらかの現金を用意しておくことも必要かもしれませんね。

## 静岡県からのお知らせ

### ■点字電話帳について

今年は、NTT西日本株式会社が3年に1度発行している「点字電話帳」及び「墨字版」の発行年であり、9月に点字電話帳の贈呈式が行われました。

今回発行する電話帳は、前回の電話帳に比べて掲載する情報を厳選しており、利用される方が必要な情報を探しやすくなっています。贈呈いただいた点字電話帳は、一般社団法人静岡県視覚障害者協会などの視覚障害関係団体や視覚特別支援学校、県内市町の障害福祉関係課などに配付をしております。機会がありましたら、ぜひ手に取ってみてください。

### ■2026年版小鳩文化事業団点字カレンダーについて

毎年、公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団が作成した点字カレンダーを株式会社静岡第一テレビより寄贈していただいております。

この点字カレンダーは昭和55年から毎年寄贈していただいております。今年で46年目となります。点字カレンダーには、月ごとに写真の掲載がありますが、写真に対する解説文も点字により併せて発行されております。

点字カレンダーの配布をご希望の方は、所属団体等へお問い合わせください。数に限りがございますので、在庫切れの際はご容赦ください。

## イベント情報

### ■2月8日(日)「出前センターin 富士」 ～「耳で聴くハザードマップ」の説明・体験会も実施します～

日時:2月8日(日) 10時～16時

会場:富士市フィランセ 福祉体験学習室

(富士市本市場 432-1、電話:0545-64-9023)

主催:静岡県視覚障害者情報支援センター

電話:054-253-0228(9時～17時)

メール:info@i-center-shizuoka.jp

協力:(有)エクストラ、(株)システムギアビジョン、(株)パリミキ、コミニシ  
ョップ Let's、NPO 法人 日本視覚障がい情報普及支援協会

アクセス:JR 富士駅より吉原中央駅経由のバスに乗車、「総合庁舎  
入口」下車、徒歩約3分。または「フィランセ」下車すぐ。

※無料駐車場があります。

※道順につきましてはセンターまでお問合せください。

#### ●日程と内容

全体会:10時～11時、13時～14時

体験・相談会:11時～12時15分、14時～16時

#### ●全体会

※午前・午後同一内容です。

支援センター:読書環境や図書貸し出しサービス、スキルアップに関  
連した県事業を紹介します。

出展業者:旬の話題や新商品、一押しサービスなどの情報提供をし  
ます。

※今回の全体会では、「耳で聴くハザードマップ」のご紹介とデモン  
ストレーションを行います。

## ●体験会・相談会

予約なしでご自由にご覧いただけます。ご質問・ご相談などはお近くのスタッフにお気軽にお声がけください。

### 【体験できる機器、相談できること】

- ・拡大読書器：文字等を拡大してモニター画面に表示する機器。白黒反転も可能。携帯型と据置型があります。
- ・音声読書器：印刷された文字を読み上げる機器。
- ・音声図書再生機：録音された図書（デージー図書）を再生する機器。
- ・遮光眼鏡：まぶしさを軽減する眼鏡。
- ・そのほか：ループ、日常生活用具、便利グッズ類、アイフォーン、Uni-VoiceBlind アプリ操作
- ・白杖歩行、ガイドの仕方・され方
- ・日常生活での困りごと、外出や歩行、補装具・日常生活用具申請、読書や情報アクセスなど

## ■土曜サロンにお越しください！

〈土曜日の午後はサロンのひととき。第1土曜はITチャレンジサロン。パソコンやアイフォーン、読書器などに関連したスキルアップをどうぞ。第3土曜はいーらサロン。体験や交流をメインにお楽しみください。原則Zoomミーティングでも配信しますので、そちらもご利用ください。〉

## ●申し込み・問合せ先：

電話（9時～17時）：054-253-0228

メール：info@i-center-shizuoka.jp

※Zoomミーティング情報はメール配信『アイニュース』の署名欄でお知らせしています。

※直接会場にお越しの場合は、事前にお申し込みください。

※いーらサロンに参加する方で静岡駅・新静岡駅・市民文化会館入り口(バス停)からのガイドをご希望の方は、ご遠慮なくお申し出ください。

## ●12月6日「話題の新製品、気になるグッズ、あれこれ！」 ～センターで体験できるものもありますよ！～

毎年都内で行われている視覚障害者向け総合イベント「サイトワールド」。今年も多くの業者が出展し、様々な新製品やグッズ、開発中のものなどバラエティに富んだ製品を体験することができました。

今年最後のITサロンは、そこで気になったもの、話題製品、開発中の物などをご紹介します。いくつかの製品はその時の印象などを中心にお話しする予定ですが、センターで体験できるものも用意します。

体験できるのは、着用したままスマホ操作が出来る暖かい手袋と読み上げ機能付きの拡大読書器の2点です。それぞれの企業担当者も出席する予定ですので、詳細や気になる点を直接確認できます。

ぜひセンターまで足を運んで、実際に手に取ってみてください。

### 【体験できる製品】

#### ①視覚障がい者向けの便利手袋(CREPATH)

この手袋は、視覚障がい者の声から生まれた手袋です。現在、2026年秋の発売に向けて試作と改良を行っております。大きな特徴は、スマートフォンをタップしたりスワイプしたりする際、手袋を着用したままでもスムーズに操作できます。5本指すべてに導電性が高い素材を使用することで、手袋を着用したままスムーズなスマートフォン操作が可能となります。掌のフィット感を高める設計と素材使いにより、白杖の感覚も損ないにくくなっています。冬の外出のおともにいかがでしょうか。

## ②クローバーブックメイト(システムギアビジョン)

これまでの「拡大表示の見やすさ」と「持ち運びやすさ」はそのままに、高精度な音声読み上げを新たに搭載。画面を見るのがつらいときでも、ボタン一つで音声読み上げに切り替え、読む負担を軽減できます。

日時:12月6日(土) 13時30分～15時30分

会場:2階センター内 およびオンライン(Zoom ミーティング)

※直接会場にお越しの場合は、事前にお申し込みください。

協力:(株)CREPATH、(株)システムギアビジョン

## ●12月20日「触図を使ってハザードマップを考える」 ～地図の見方・触り方、リスクのとらえ方～

利用者懇談会でも取り上げた3D触察地形図。県内の海岸線を把握することで、ハザードマップの理解を深める企画です。

今回、触図の製作をお願いしている鶴見大学教授・元木先生にもお越しいただき、製作の苦労話やこぼれ話等もお伺いします。もちろん3Dそのものの活用や今後への期待など、興味深いお話もどうぞ。

来場参加者には、サンプルとして使用する静岡市の海岸線部分の触図をプレゼント！触ることから得られる情報について、考える材料にしていただければ幸いです。

ご自身が住んでいる近くの海岸線地図も用意していますので、後半の自由時間にじっくり触っていただくことも可能です。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

日時:12月20日(土) 13時15分～15時45分

会場:5階 集会室 およびオンライン(Zoom ミーティング)

※直接会場にお越しの場合は、事前にお申し込みください。

## 【日程】

13 時 15 分:開会、講演(鶴見大学教授・元木章博 氏)

テーマ:手で触るハザードマップの意義(仮称)

14 時 00 分:触察講座「サンプルをみんなで触ってみる」

14 時 30 分:「耳で聴くハザードマップ」の活用

14 時 45 分:休憩

15 時 00 分:質疑応答、個別対応

15 時 45 分:閉会

## ●1 月 17 日「歴史とお茶の街、掛川へ」

新年最初のいーらサロンは掛川城御殿見学と観光物産センター訪問。

掛川城御殿は全国に 4 カ所しかない「現存する城郭御殿」として、非常に貴重な建物だそうです。畳と柱ばかり、といった声も聞こえてきそうですが観光ガイドさんのお話を聞きながら、改めて当時の様子に思いを馳せてみてはいかがでしょう。

見学後は観光物産センター「こだわりっば」へ。お茶やお菓子、地元の逸品などが販売されている他、お茶のソフトクリーム、抹茶風味のたい焼きも食べられます。またご希望の方には「抹茶どら焼きづくり」も体験していただけます。抹茶入りの緑のどら焼き生地を自分で焼き上げるというもので、ひっくり返す工程はわくわくドキドキなのだから。お一人 2 個作れます。できたてを味わえますよ。

日時:1 月 17 日(土) 13 時 30 分~15 時 30 分

集合:JR 掛川駅北口(在来線側)、13 時 15 分

費用:

①御殿入館料 410 円(手帳所持者と付き添い1名は無料)

②抹茶どら焼きづくり 800 円(どら焼き 2 個と選べる掛川茶 1 杯)※予約制ですのでご希望の方は申し込み時にその旨お知らせください。

申込:1月9日(金)までに、ガイドの有無とどら焼きづくり希望の有無をお知らせください。

※オンライン(Zoom ミーティング)の配信はありません。

## ●2月21日「小泉八雲とっておき情報」

現在朝ドラ「ばけばけ」で取り上げられている小泉八雲。日本の怪談話を世に広めたことで有名ですね。ギリシャ生まれでラフカディオ・ハーンの名前でも知られています。

来日後島根、熊本、神戸、東京と居を移したそうですが、ここ静岡県焼津市にも縁があったことは皆さんご存じでしょうか。

今回はその小泉八雲について「やいづ観光案内人の会」の鈴木功治さんにお話しいただきます。鈴木さんは長らく八雲について調べておられる方で、八雲の人となりから地元ならではの情報など興味深いお話が伺えそうです。

八雲につきましては今月号の「本の玉手箱」でもご紹介しています。併せてお楽しみください。

日時:2月21日(土) 13時30分~15時30分

会場:5階 音楽室 およびオンライン(Zoom ミーティング)

※直接会場にお越しの場合は、事前にお申し込みください。

## ●3月サロンの予告:

7日(ITサロン):LINEに搭載されたAI機能を中心に、最新の生成AIサービスを取り上げます。

14日(いーらサロン):中途視覚障害者のための茶話会の第3回目です。東部地区での開催を予定しています。

## 本の玉手箱

### ■小泉八雲特集

連続テレビ小説『ばけばけ』は、小泉セツ&八雲（ラフカディオ・ハーン）夫妻がモデルの物語です。そこで今回は、小泉八雲に関する図書をご紹介します。

●『黒い蜻蛉 小説小泉八雲』 ジーン・パスリー著 小宮由記  
2024年 佼成出版社（点字・デイジー）

のちに「怪談」を生みだす男が最後に選んだ地は、開国直後の日本だった。彼の性格や思想、その生涯をつづった伝記小説。

●『思ひ出の記』 小泉節子著 2003年 ヒヨコ舎  
（点字・デイジー）

日本を愛し、己を偽ること無く生きた小泉八雲をやさしい眼差しで見守り続けた妻・節子が綴る、日本、怪談、そして家族。

●『新編日本の面影』 ラフカディオ・ハーン著 池田雅之記  
2000年 角川書店（点字・デイジー）

日本の風景、こころを描いたハーンの日本観、自然観をよくあらわした12篇。日本と日本人の美しさに気づく1冊。

●『小泉八雲集 改版』 小泉八雲著 上田和夫訳 1994年  
新潮社（点字・デイジー）

鋭い洞察力と情緒豊かな才筆とで、日本を広く世界に紹介した本書には「影」「骨董」「怪談」などの作品集より、代表作を新編集。

●『怪談・奇談』 ラフカディオ・ハーン著 田代三千穂訳  
1956年 角川書店（点字・デイジー）

「鳥取の蒲団のはなし」など、日本の古典や民話を題材につづった怪談集。怪談を15編、奇談を27編収録。

## ■点字図書差し上げます！

バインダーなしの簡易製本。先着順で受け付けます。ご希望の方は貸出サービス班まで。

『いのちのそばで 野の花診療所からの最終便』

徳永進著 全4巻

『山がわたしを呼んでいる』 浅葉なつ著 全5巻

『テディ・ゴー！』 加藤実秋著 全5巻

『マイ・フェア・テディ』 加藤実秋著 全5巻

『おいしい給食』 紙吹みつ葉著 全5巻

『魔女狩り学園』 宗田理著 全3巻

『みな殺し学園』 宗田理著 全3巻

『殺しの交換日記』 宗田理著 全3巻

『修学旅行殺人事件』 宗田理著 全3巻

『腕貫探偵、残業中』 西沢保彦著 全4巻

『モラトリウム・シアター』 西沢保彦著 全4巻

『帰ってきた腕貫探偵』 西沢保彦著 全3巻

『少年と犬』 馳星周著 全4巻

『さよならの夏』 樋口明雄著 全4巻

『紅い垂壁』 樋口明雄著 全4巻

『太陽を背にうけて』 樋口明雄著 全4巻

『ハーメルンの誘拐魔』 中山七里著 全5巻

『オペラ座の怪人』 ガストン・ルルー著 全8巻

『レンブラントをとり返せ』 ジェフリー・アーチャー著 全7巻

『あいことばはあらしのよるに』

きむらゆういち作 全1巻(全28P)

『静岡県視覚障害者情報支援センター

点字図書総目録 2024年度版』 全7巻

## ■SDカードサービス

テーマ別に選書したデ이지ー図書を、SDカードへコピーして提供いたします。SDカードはご自身で用意するか、センターで代行購入することができます。また、USBメモリーでも利用可能です。

一部、SDカードを直接差し込むことのできないプレクストークがあります。よく確認の上、ご購入下さい。詳細は貸出サービス班へお問い合わせ下さい。

### 《テーマ別パック》

|                      |        |
|----------------------|--------|
| 静岡新刊図書パック(2025年12月号) | 12タイトル |
|----------------------|--------|

今回のアイサポートニュースで紹介したセンター製作の新刊デ이지ー図書を全て収録。

|         |         |
|---------|---------|
| 小泉八雲パック | 20 タイトル |
|---------|---------|

日本古来の風俗文化に触れ、四季のうつろいに感動した小泉八雲の伝記やエッセイ、再話文学作品を収録。

|                |         |
|----------------|---------|
| 今野敏・安積班シリーズパック | 20 タイトル |
|----------------|---------|

警視庁東京湾臨海警察署を舞台に、安積警部補率いる刑事課強行犯係安積班の活躍を描く。

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 女性リーダーに関する図書パック | 20タイトル |
|-----------------|--------|

高市早苗氏をはじめ首長となった女性を中心に、組織のトップやオピニオンリーダーとして活躍した女性たちに関する図書を収録する。

|                |        |
|----------------|--------|
| 忠臣蔵を題材にした小説パック | 20タイトル |
|----------------|--------|

歌舞伎や浄瑠璃の演目として人気を博し、度々ドラマ化されてきた忠臣蔵。定番のテーマを、様々な角度から楽しめる小説のパック。

## 新 刊 案 内

2025年10月から2025年11月までに受入れた当センター所蔵の点字図書とデージー図書を紹介します。当センター製作以外の図書には、説明文の末尾に(委託図書)(寄贈図書)などの記載があります。

### 《点字図書》

| タイトル |     | 巻数 | 著者名  |
|------|-----|----|------|
| 出版年  | 出版者 |    | 分類番号 |

### <総記>

|                                          |                                    |   |                                        |
|------------------------------------------|------------------------------------|---|----------------------------------------|
| <small>じょうし えーあい</small><br>上司がA Iになりました |                                    | 4 | <small>はしづめ だいさぶろう</small><br>橋爪 大三郎 著 |
| 2024年                                    | <small>か ど か わ</small><br>KADOKAWA |   | 007.3                                  |

生成AIが組み込まれた日本社会の変化を、社会学の第一人者が予測する。人類が夢見た格差のない社会は実現するのか。

|                                                                               |                                       |   |                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---|----------------------------------|
| <small>じょうしき</small><br>そろそろ常識？ マンガで<br><small>せい きひょうげん</small><br>わかる「正規表現」 |                                       | 3 | <small>もり よしなお</small><br>森 巧尚 著 |
| 2020年                                                                         | <small>けんきゅうじょ</small><br>シーアンドアール研究所 |   | 007.64                           |

ITの現場にとって基本常識の1つとなった「正規表現」。常識とされながらも覚えにくいテーマをピックアップし、要点をわかりやすく解説。

### <哲学>

|                              |                                        |   |                                     |
|------------------------------|----------------------------------------|---|-------------------------------------|
| <small>し なに</small><br>死とは何か |                                        | 5 | <small>なかむら けい し</small><br>中村 圭志 著 |
| 2024年                        | <small>ちゅうおうこうろんしんしゃ</small><br>中央公論新社 |   | 160.4                               |

死んだらどうなるのか。人は死や転生、不老長寿を語り継いできた。死をめぐる諸宗教の教え・思想を歴史的に通覧し、答えを模索する。

|                         |                     |   |                            |
|-------------------------|---------------------|---|----------------------------|
| おみくじの <sup>れきし</sup> 歴史 |                     | 4 | ひらの <sup>た え</sup> 平野 多恵 著 |
| 2024年                   | よしかわこうぶんかん<br>吉川弘文館 |   | 176.8                      |

おみくじはいつから存在し、誰がつくり、なぜ和歌や漢詩が書いてあるのか。ルーツを辿り、日本の社寺の風俗として定着した魅力に迫る。

### <歴史>

|                             |                             |   |                               |
|-----------------------------|-----------------------------|---|-------------------------------|
| <sup>しずおか</sup> 静岡ふるさとヒストリー |                             | 3 | こいずみ <sup>た つ お</sup> 小泉 達生 著 |
| 2024年                       | <sup>しずおかしんぶんしゃ</sup> 静岡新聞社 |   | 215.4                         |

「家康は駿府よりも江戸に長く住んでいた」って本当？ 魅力あふれる静岡の歴史を、クイズをきっかけにわかりやすくひも解く。

### <社会科学>

|                         |                                  |   |                         |
|-------------------------|----------------------------------|---|-------------------------|
| <sup>けいむしょ</sup> 刑務所ごはん |                                  | 3 | おう <sup>なん</sup> 汪 楠 他著 |
| 2024年                   | <sup>けーあんどびー</sup> K & Bパブリッシャーズ |   | 326.52                  |

受刑者200人への「刑務所内の食事」に関するアンケート結果を中心に、獄中における食環境の実情を肉声とともに伝える。

### <自然科学>

|                                         |                  |   |                               |
|-----------------------------------------|------------------|---|-------------------------------|
| <sup>のろ</sup> 呪いを、 <sup>か がく</sup> 科学する |                  | 2 | なかがわ <sup>あ さ こ</sup> 中川 朝子 著 |
| 2022年                                   | ディスカヴァー・トゥエンティワン |   | 490.4                         |

迷信、妖怪、奇病、超能力といった人体の内外で起こる古今東西の恐ろしい現象を、医学を中心とした科学の視点から徹底的に解明する。

|                  |                |                    |
|------------------|----------------|--------------------|
| ふろ あいこく<br>風呂と愛国 | 4              | かわばた みき<br>川端 美季 著 |
| 2024年            | NHK出版<br>しゅっぱん | 498.021            |

日本人の「毎日風呂に入るのが当たり前」という感覚は、いったいどこからきたのか。風呂を通して見えてくる日本近代史。

### <技術>

|                  |                |                   |
|------------------|----------------|-------------------|
| しろ ね う<br>お城の値打ち | 3              | かはら とし<br>香原 斗志 著 |
| 2024年            | しんちょうしゃ<br>新潮社 | 521.823           |

近年の「城ブーム」のおかげで、全国各地で人気を集める城の数々。文化財、史跡としての城の値打ちと、その歴史と未来を問う。

|                                                                                |   |                            |
|--------------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------|
| あきふゆ<br>'25 秋冬ニットコレクション<br>まいにち き ふゆ いろど<br>毎日着たい冬を 彩 るとって<br>おきの定番ニット<br>ていばん | 2 | しずてん てんやくかい<br>静点あみもの点訳会 編 |
| 2025年                                                                          |   | 594                        |

棒針編み:セーター2点、カーディガン1点、ベスト2点、子供用セーター1点、バラクラバ1点、メンズセーター1点  
かぎ針編み:ベスト3点、カーディガン(子供120cm)1点、セーター1点

### <日本文学>

|                                    |                  |                      |
|------------------------------------|------------------|----------------------|
| みしま ゆ き お まちある て ちょう<br>三島由紀夫街歩き手帖 | 4                | よこやま しげひこ<br>横山 茂彦 著 |
| 2024年                              | おおたしゅっぱん<br>太田出版 | 910.268              |

三島作品の舞台や執筆の場となった、数々の店や場所、風景。現地へ赴き、思いを馳せる。そんな読書を愉しむためのガイドブック。

## &lt;日本文学 小説&gt;

|             |                    |                       |
|-------------|--------------------|-----------------------|
| マイ・ディア・キッチン | 4                  | おおき あきこ 著<br>大木 亜希子 著 |
| 2025年       | ぶんげいしゅんじゅう<br>文藝春秋 | 913.6                 |

主婦の葉は生活の全てを夫に管理されていた。ある日、家から逃げ出した葉が辿り着いたのは、街の小さなレストランだった。

|                  |                 |                       |
|------------------|-----------------|-----------------------|
| み ぼし ころ<br>三つ星の頃 | 2               | のじり ほうえい 著<br>野尻 抱影 著 |
| 2025年            | ちくましょぼう<br>筑摩書房 | 913.6                 |

星の随筆家として活躍した野尻抱影が遺した幻の小説集。オリオンの光が印象的な表題作をはじめ、自然の息吹を感じる11篇を収録。

## &lt;日本文学 歴史・時代小説&gt;

|                               |               |                 |
|-------------------------------|---------------|-----------------|
| き ど げいしゃ たんていちよう<br>木戸芸者らん探偵帳 | 4             | なかの<br>仲野 ワタリ 著 |
| 2025年                         | こうぶんしゃ<br>光文社 | 913.6           |

様々な声色を使い分ける木戸芸者のらん。らんの能力に目を付けた目明しの源助は、らんに探偵にならないかと持ち掛ける。

|                               |                     |                       |
|-------------------------------|---------------------|-----------------------|
| ぞくと あかつき せんり はし<br>賊徒、暁に千里を奔る | 4                   | はにゅう あすか 著<br>羽生 飛鳥 著 |
| 2024年                         | か ど か わ<br>KADOKAWA | 913.6                 |

管弦の宴で知り合った若者に乞われ、かつて大盗賊と呼ばれた小殿は貴族の屋敷から真珠を盗んだ話を語って聞かせる。

## &lt;日本文学 推理小説&gt;

|                                                    |               |                      |
|----------------------------------------------------|---------------|----------------------|
| けいせい<br>経営コンサルタント「遠山金<br>じろう さつじんじ けんぼ<br>次郎」殺人事件簿 | とおやまきん<br>6   | ささがわ としゆき<br>笹川 俊之 著 |
| 2024年                                              | ぶんげいしゃ<br>文芸社 | 913.6                |

遠山金四郎の末裔・遠山金次郎は、企業経営に絡む難事件を解決した手腕を買われ、特命調査官に任命される。

|                    |                      |                  |
|--------------------|----------------------|------------------|
| いのち<br>命 みじかし恋せよ乙女 | こい おとめ<br>7          | つじ まさき<br>辻 真先 著 |
| 2024年              | とうきょうそうげんしゃ<br>東京創元社 | 913.6            |

大正8年。取材中に不可能犯罪に巻き込まれた記者の可能勝郎は、『探偵小僧』こと明智少年と共に事件の謎に挑む。

|                              |               |                     |
|------------------------------|---------------|---------------------|
| なぜ、そのウイスキーが闇を<br>まね<br>招いたのか | やみ<br>4       | みさわ よういち<br>三沢 陽一 著 |
| 2025年                        | こうぶんしゃ<br>光文社 | 913.6               |

先日亡くなった友人が残した言葉を理解できずにいた宮本は、バーテンダーに促され、その友人について語り始める。

## &lt;日本文学 随筆・エッセイ&gt;

|                                     |                         |                     |
|-------------------------------------|-------------------------|---------------------|
| だい ふあん<br>60代、不安はあるけど、今<br>す<br>が好き | いま<br>3                 | きしもと ようこ<br>岸本 葉子 著 |
| 2024年                               | ちゅうおうこうろんしんしゃ<br>中央公論新社 | 914.6               |

60代の暮らしは気になることが多いけど、自分をよく知る「今」だから、不安と丁寧に向き合える。人生のこれからを考えるエッセイ。

## &lt;日本文学 ルポルタージュ&gt;

|                                |                   |                         |
|--------------------------------|-------------------|-------------------------|
| さい こくぜい ねら おとこ<br>37歳で国税に狙われた男 | 2                 | さ の そう ご ろう<br>佐野 宗吾朗 著 |
| 2024年                          | たいようしゅつぱん<br>太陽出版 | 916                     |

「税金を払いたくない」と思って脱税したら、地獄の日々が待っていた。脱税に至った経緯や、事件の裏側を語る。

## &lt;外国文学&gt;

|                      |                |                                           |
|----------------------|----------------|-------------------------------------------|
| クラーク・アンド・ディヴィジ<br>ョン | 8              | ひらはら なおみ<br>平原 直美 著<br>せりざわ めぐみ<br>芹澤 恵 訳 |
| 2024年                | しょうがくかん<br>小学館 | 933.7                                     |

1944年シカゴで、日系2世のアキ・イトウは姉のローズが亡くなったことを知る。警察の自殺説に疑問を感じたアキは自ら調査を始める。

|                           |               |                       |
|---------------------------|---------------|-----------------------|
| せい き きたんしゅう<br>19世紀ロシア奇譚集 | 5             | たかはし ともゆき<br>高橋 知之 編訳 |
| 2024年                     | こうぶんしゃ<br>光文社 | 983                   |

リアリズム文学重視の陰で忘れ去られていた、豊饒なロシアンホラーの魅力を発掘する。

|                       |                  |                                           |
|-----------------------|------------------|-------------------------------------------|
| クラクフ・ゲッターの薬局<br>やつきよく | 6                | タデウシュ・<br>パンキエヴィチ 著<br>たむら かずこ<br>田村 和子 訳 |
| 2024年                 | おおつきしよてん<br>大月書店 | 989.86                                    |

ゲッターで薬局を営むポーランド人の著者が、ユダヤ人への支援者・ナチの暴虐の記録者として2年半を過ごした、克明な回想録。

## 《デージー図書》

| タイトル |     | 時間 | 著者名  |
|------|-----|----|------|
| 出版年  | 出版社 |    | 分類番号 |

## &lt;哲学&gt;

|                                  |                                      |      |                   |
|----------------------------------|--------------------------------------|------|-------------------|
| つか <small>じゅきょう</small><br>使える儒教 |                                      | 3:07 | やすだ のぼる<br>安田 登 著 |
| 2023年                            | <small>えぬえいちけーしゅつぽん</small><br>NHK出版 |      | 124.1             |

漢籍の道をきわめた著者が儒教の考え方を使い、自分を変えていく方法を紹介する。楽に生きる術が分かる儒教の入門書。

## &lt;歴史&gt;

|                                    |                              |       |                                   |
|------------------------------------|------------------------------|-------|-----------------------------------|
| <small>いまがわ</small><br>今川のおんな家長寿桂尼 |                              | 10:49 | <small>くろだ もとき</small><br>黒田 基樹 著 |
| 2021年                              | <small>へいぼんしゃ</small><br>平凡社 |       | 289.1                             |

夫・氏親の晩年には領国統治をたすけ、子・氏輝期には当主代行となった寿桂尼の発給文書から、戦国時代の妻の役割を明らかにする。

## &lt;技術&gt;

|                               |                                    |      |                                      |
|-------------------------------|------------------------------------|------|--------------------------------------|
| <small>ざんど やみ</small><br>残土の闇 |                                    | 7:09 | <small>しずおかしんぶんしゃ</small><br>静岡新聞社 編 |
| 2022年                         | <small>しずおかしんぶんしゃ</small><br>静岡新聞社 |      | 517.4                                |

2021年、熱海伊豆山で発生した大規模土石流災害は、工事の残土による「盛り土」の崩壊がもたらした「人災」だった。悲劇の原因を追う。

## &lt;日本文学 小説&gt;

|                                    |                             |      |                                        |
|------------------------------------|-----------------------------|------|----------------------------------------|
| <small>かく が</small><br>ライオンの隠れ家(上) |                             | 6:46 | <small>まきた ようへい</small><br>蒔田 陽平 ノベライズ |
| 2024年                              | <small>ふそうしゃ</small><br>扶桑社 |      | 913.6                                  |

洸人は自閉スペクトラム症の弟と平穏に暮らしていた。しかしライオンと名乗る少年との出会いが、二人の生活に大きな変化をもたらす。

|                                          |                   |                     |
|------------------------------------------|-------------------|---------------------|
| だんざい<br>断罪された悪役令嬢は、逆行<br>して完璧な悪女を目指す (2) | 11:41             | ならやま ばくふ<br>檜山 幕府 著 |
| 2022年                                    | ていーおー<br>T O ブックス | 913.6               |

王太子シルヴェスターとの婚約内定を手にしたクラウディア。初めての恋に心を躍らせるが、プロポーズを断る不吉な夢を見てしまう。

|                                          |                   |                     |
|------------------------------------------|-------------------|---------------------|
| だんざい<br>断罪された悪役令嬢は、逆行<br>して完璧な悪女を目指す (3) | 8:38              | ならやま ばくふ<br>檜山 幕府 著 |
| 2022年                                    | ていーおー<br>T O ブックス | 913.6               |

貿易国アラカネルへ視察に赴いたクラウディアは、枢機卿からある商談を持ちかけられる。

|                                          |                   |                     |
|------------------------------------------|-------------------|---------------------|
| だんざい<br>断罪された悪役令嬢は、逆行<br>して完璧な悪女を目指す (4) | 8:57              | ならやま ばくふ<br>檜山 幕府 著 |
| 2023年                                    | ていーおー<br>T O ブックス | 913.6               |

娼館帰りの貴族が殺害された。ライバルのウエンディから黒幕だと糾弾されたクラウディアは、疑いを晴らすため自ら調査に乗り出す。

|                                          |                   |                     |
|------------------------------------------|-------------------|---------------------|
| だんざい<br>断罪された悪役令嬢は、逆行<br>して完璧な悪女を目指す (5) | 10:29             | ならやま ばくふ<br>檜山 幕府 著 |
| 2023年                                    | ていーおー<br>T O ブックス | 913.6               |

クラウディアは拉致され、少年探偵・キースと共に謎めいた村に軟禁される。そこには「掟」と「儀式」に怯える少女たちがいた。

|                                                                                                                                                                        |                                  |                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| <small>だんざい</small><br>断罪された <small>あくやくれいじょう</small> 悪役令嬢は、 <small>ぎゃっこう</small> 逆行<br><small>かんぺき</small><br>して完璧な <small>あくじょ</small> 悪女を <small>めざ</small> 目指す (6) | 8:51                             | <small>ならやま</small><br><small>ばくふ</small><br><small>榎山 幕府</small> 著 |
| 2024年                                                                                                                                                                  | <small>ていーおー</small><br>T O ブックス | 913.6                                                               |

婚約式を終えたクラウディアを待ち受けていたのは、過酷なお妃教育。兄嫁の嫌がらせで2週間にわたる修道院生活を送ることになる。

### <日本文学 推理小説>

|                                                                  |                                       |                                                                 |
|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| <small>じんせいとばく</small><br>人生賭博 <small>よこはま</small><br>横浜ネイバース(4) | 8:00                                  | <small>いわい</small> <small>けいや</small><br><small>岩井 圭也</small> 著 |
| 2024年                                                            | <small>かどかわはるきじむしょ</small><br>角川春樹事務所 | 913.6                                                           |

ロンの幼馴染マツの恩人が自殺未遂をおこした。競馬関連の詐欺にあったという。恩人の窮地を救うため、マツがとった行動とは。

|                                                                                         |                                |                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| <small>あさくられいいち</small><br>麻倉玲一は <small>しんらい</small> 信頼できない語<br><small>かた</small><br>り手 | 8:49                           | <small>おおた</small> <small>ただし</small><br><small>太田 忠司</small> 著 |
| 2021年                                                                                   | <small>とくましょてん</small><br>徳間書店 | 913.6                                                           |

死刑廃止後の日本。フリーライターの熊沢は、最後の死刑囚・麻倉玲一の告白本を執筆するため取材に向かう。

### <外国文学>

|                                   |                               |                                                                                |
|-----------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| <small>まじょ</small><br>ウェイワードの魔女たち | 17:27                         | <small>エミリア・ハート</small> 著<br><small>ふかわ ゆみえ</small><br><small>府川 由美恵</small> 訳 |
| 2024年                             | <small>しゅうえいしゃ</small><br>集英社 | 933.7                                                                          |

大伯母はなぜこの屋敷を遺してくれたのか。ケイトは大伯母の半生を追ううちに、17世紀に魔女裁判にかけられたアルサに行き当たる。